

7月度理事会議事録（2020年7月14日（火）開催）

1. 会長報告（6月9日（火）～7月13日（月）出席案件）

- ・6月26日（金）泰日協会 年次総会・理事会 於：Renaissance Bangkok Ratchaprasong Hotel
- ・7月1日（水）JTB 共催オンラインセミナー第一弾・日帰り旅行セミナー
- ・7月3日（金）SUPERMAN FOAM INDUSTRY CO.,LTD. 青山功氏よりフェイスシールド寄付贈呈式 於：本館

2. 理事退任・新理事承認

- ・仲野真司氏（Sumitomo Corporation (Thailand) Ltd.）・帰任のため退任
 - ・福田康氏（Sumitomo Corporation (Thailand) Ltd.）
 - ・堀尾哲亨氏（Bank of Ayudhya Public Company Limited）
- > 異議なく承認された。

3. 退任オブザーバー・新オブザーバー紹介

- ・藤下超氏（報道代表・NHK General Bureau for Asia）・帰任のため退任
- ・高橋徹氏（報道代表・日本経済新聞社）

4. 一般報告

（1）6月度個人会員動向

入会者 53名 退会 127名 現会員数 5,976名（内、準会員 43名 会友会員 214名）
（前年同月 6,586名・前年同月比 90.7%）

（2）6月度賛助会員

〈入会 4社〉

- ・ブレズアジア（医薬品小売り）
- ・株式会社 再春館製薬所（化粧品販売）
- ・株式会社 アークライフ（タイランドエリート日本正規代理店・旅行代理店業）
- ・学校法人 佐藤学園（通信制高等学校、専修学校、日本語学校、研究受託）

〈退会 3社〉

- ・積水化学タイランド株式会社
- ・伊勢丹（タイランド）株式会社
- ・第一三共 タイランド リミテッド

現会員数 587社

（前年同月 569社・前年同月比 103.1%）

（3）6月度会館来訪者数

本館：65名（実数 55名）

別館：402名（実数 193名）

合計：467名（実数 248名）

（前年同月 2,394名（実数 1,023名）前年同月比 19.5%（24.2%））

(4) 会員優待店

【新規加盟】

- ・UCC オリエンタル
- ・K's café
- ・UCC Coffee Shop
- ・Bangkok Marriott Marquis Queen's Park, Quan Spa
- ・Novotel Living Bangkok Sukhumvit34 (宿泊)
- ・みやぎ

【退会】

- ・Antares Serviced offices
6店舗加盟、1店舗退会 現在 171 店舗

(5) 6 月度会計報告

- ・6 月度収入は、161 万バーツ、(前年同月 230 万バーツ 前年同月比 70.2%)
- ・6 月度支出は、184 万バーツ、(前年同月 247 万バーツ 前年同月比 74.3%)
- ・単月収支 -22 万バーツ (前年同月 -17 万バーツ 差額 -4 万バーツ)

(6) 法人会館利用

・法人利用についても、会館利用を再開した。7 月～11 月と予約を頂いており、10 月・11 月には入試での利用の予約を頂いている。

(7) 寄付・寄贈報告

- ・本の寄贈

仲野真司様・山崎めぐみ様 他 4 名様より、134 冊寄贈頂いた。

- ・フェイスシールドの寄贈

SUPERMAN FOAM INDUSTRY CO., LTD. 青山功氏よりフェイスシールド 100 個寄贈頂いた。

(8) その他報告 (事務局)

- ・7 月・8 月・9 月の主なオンラインセミナーなどの行事と会議日程を確認した。
- ・8 月 1 日 (土) にジャカルタで開催予定だったアジア域内事務局長会議をオンラインで開催する旨報告した。

5. タイ国日本人会後援名義・ロゴ使用申請 (事務局)

(1) 対象事業名：タイにおける母語・継承語としての日本語教育研究会・ワークショップ

- ・開催日：2020 年 8 月 2 日 (日)・16 日 (日)
- ・主催：タイにおける母語・継承語としての日本語教育研究会
- ・要請事項：日本人会共催・会員向け告知・別館利用

→ 異議なく、承認された。

(2) 対象事業名：タイにおける母語・継承語としての日本語教育研究会・第 15 回講演会

- ・開催日：2020 年 9 月 6 日 (日)
- ・主催：タイにおける母語・継承語としての日本語教育研究会
- ・要請事項：日本人会共催・会員向け告知・本館利用

——〉異議なく、承認された。

(3) 対象事業名：阿部恭子氏 個展 Forest of imagination 創造の森

・開催日：2020年7月21日(火)～8月8日(土)

・主催：Personnel Consultant Manpower (Thailand) Co., Ltd.

要請事項：日本人会後援名義・ロゴ使用・会員向け告知

——〉異議なく、承認された。

(4) 対象事業名：バンコク日本博 2020 オンライン

・開催日：2020年9月4日(金)～9月6日(日)

・主催：Lighthouse Info Service Co., Ltd. 株式会社ジェイエデュケーション

要請事項：日本人会後援名義・ロゴ使用・会員向け告知

——〉異議なく、承認された。

6. 定期総会実施に関して(事務局)

・7月23日(木)16時から17時にてビデオ会議システムにて定期総会を実施、プログラムの確認をした。

7. バンコク日本人学校代替施設の検討・運動グラウンドなど

(事務局)

・バンコク日本人学校が分散登校で授業再開されたが、日本人学校で活動している運動部同好会・青少年部サークルの活動ができない状態が続いている。学校に問い合わせたところ、教育活動が優先されるため暫くは施設の利用は難しいとの回答があった。学校で活動している運動系の同好会については、政府の緩和策に基づき活動が可能となったため、学校以外の施設で活動を再開し始めている。

・青少年サークルについては、一学期は自粛するが、授業が再開された際、二学期からは外部での活動を検討していきたいと考えているサークルもいる。

・日本人会でも運動系同好会・青少年サークルの活動場所を探していかなくてはいけない。事務局でも別館近くのラケットクラブ施設を見学し話し合いをしてきたが、対象となる同好会に限られ、費用面などでも現実的でないと判断している。

(運動部・中村理事)

・活動場所を必要としている運動部の活動としては、ソフトボール大会・バスケットボール・バレーボール・剣道各同好会となる。運動部の活動に参加するために、入会した会員も多い。日本人会の会員メリットを提供する必要がある、利用料が無料或いは少額で利用できる場所を探す必要がある。各企業の保有するグラウンドや体育館の提供をお願いしたい。また、大学・高校の施設の利用についても情報提供をお願いしたい。タイの学校については、貸し手側にもメリットとなるよう日泰交流の場として利用できればと考えている。一般施設についても格安に利用できるという情報があれば事務局までご連絡頂きたい。

8. 各部・各委員会報告及び提案等

(1) 厚生部(桐生理事)

・3月16日(月)より新型コロナウイルス(COVID-19)の感染予防のため中止していたすくすく会キッズルームを7月7日(火)より人数制限・衛生管理を徹底したうえで再開した。

- ・6月24日（水）すくすく会キッズルームでは、オンラインイベント「助産師さんのおっぱい講座・妊娠期準備編」を開催した。
- ・3月12日（木）より活動を中止していたすくすく会わんぱくミーティングでは、7月10日（金）より離乳食ミーティングを再開した。
- ・すくすく会わんぱくミーティングで発行している幼稚園案内の2020年度版を発行した。従来は6月に発行しているが、今年は1ヵ月遅れての発行となった。
- ・出産準備教室では、オンライン開催にて対応している。

（2）企画推進部（田中理事（伊藤忠））

- ・7月のオンラインイベントを紹介した。
- ・7月1日（水）オンラインセミナー「JTB 共催オンラインセミナー第一弾・自然を満喫！日帰り旅行」を開催した。73名の参加があった。バンコク以外にも日本・インドネシアからも参加があり、好評であった。
- ・7月11日（土）オンラインレッスン「お子様と一緒に参加もOK！おはようヨガ入門編」を開催した。14組が参加した。

（3）三役会・企画推進部（田中理事（伊藤忠））

- ・会員減が続く中、二会館を維持するのは難しく会館統合に向けての検討の必要性を感じており、現在、企画推進部及び三役会で話し合いをしているので、情報共有しておきたい。2008年本館と別館の統合の議論があったが、結果現在のような二館の体制になっている。その後時間も経過し、本館と別館の意味合いも変わってきており、会員減も続いている。2020年度は議論していくタイミングだと考えている。「本館維持・別館閉鎖」、「本館リース・別館拡張」、「本館売却・別館購入」、「本館維持・図書運動スペースリース」などの案があるが、別館拡張については、オーナー側からは階上の利用は難しいとの回答があり、期待できる改修はできないことが判明した。尚、食堂との契約は、2021年4月更新、別館の契約更新は2022年2月（解約の場合、2021年8月通知）となっている。企画推進部・三役会での議論の結果を下に、理事会に諮っていききたい。

（4）クラブ部（土田理事）

- ・別館の二階部分への拡張について、オーナー側へ打診をしたが、二階部分の拡張は無理だが、一階部分の拡張ならば可能である旨、回答があった。部屋のレイアウトを変更するなどする必要があり、期待できるような拡張ができるか検討が必要である。
- ・別館のオーナー会社へ、6月分の家賃についても減免の交渉を実施したが値引きはできないとの回答であった。尚、別館の家賃は平米あたり約340Bと他のオフィス物件に比べ安価であるが、契約を更新するのであれば、据え置きを念頭に交渉をしたいと考えている。
- ・7月1日（水）より別館一般図書館の運用について平常通りの時間運用に戻した。但し一度に入室できるのは、5組までとしている。
- ・7月10日（金）より別館子ども図書館を再開した。ボランティアスタッフの手当ての問題があり当面は金曜日のみ開館とすることとなった。
- ・7月1日（水）リース期間満了によりAEDを交換。新しいAEDはセコム社からのリースとなり、日本・タイ語両言語にて案内ができる機器となった。8月26日（水）にAED講習会を開催する予定でいる。

(5) 大使館代表 (松前領事部長)

・7月2日(木)、タイ民間航空局は先に発表していた6月29日(月)付の航空機及び乗客のタイ乗り入れに関する告示を廃止し、新たな告示を発出、日本語訳を大使館ホームページに掲載している。第3項にどういう方がタイに入国できるか説明しているが、在京タイ王国大使館は混雑している状況だということは把握している。第3項の11に「タイ国籍を保持しない者で外国との特別な合意事項(Special Arrangement)に則して王国へ入国することが許可された者」という項目があり、ビジネスで入国される方について、相互で簡易的に入国できるよう調整しているところである。

(6) 事業部 (神原理事)

・9月12日(土)開催予定の敬老会の日祝賀会について、開催方法について報告。新型コロナウイルス(COVID-19)の感染防止のため、本年は75歳の対象者の方のみの参加とし、記念品を授与し終了予定とした。

・毎週木曜日に開催している懇和会の例会は、7月16日(木)から再開予定、但し少人数で集まることとした。

(7) 運動部・ゴルフ部 (神原理事)

・7月より例会を再開する。表彰式はクラブハウスで行わない形で運用、8月からは通常運用とすることとしている。

(8) 青少年部 (日高理事 (日高洋行))

・野球サークルは、6月7日(日)より、Rajanamin(フットサルコート)にて再開した。
・サッカーサークルは、6月26日(金)より、NOAH Bangkokにて再開した。
・演劇サークルは、7月1日(水)より別館で再開した。
・茶道、柔道サークルは、7月4日(土)より別館で再開した。
・ブラスバンドサークルは、日本人学校の楽器を貸与して頂いて活動しているため再開時期は未定である。
・テニス、水泳、バスケットボール、バレーボールは一学期の活動はしないこととした。

(9) 食堂運営委員会 (石井理事)

・食堂売上5月は、585,090B(前年対比42.6%)6月は754,685B(前年対比54.7%)であった。
・5月のタイ人顧客は1719名、邦人顧客は378名、総顧客数2097名、会員利用者延べ人数は94名、実数22名
・6月のタイ人顧客は2342名、邦人顧客は539名、総顧客数2881名、会員利用者延べ人数100名、実数24名
・4月は売上がゼロで、かつ現在でも厳しい経営状態だが、4月~6月家賃を減免しており、7月からは通常通り家賃を支払うよう指示している。来年の家賃契約更新については、10%の値上げを検討している旨、通知している。来月は前年比75%を目指すようにしており、第二派がこなければ、今年中には前年並みの売り上げになるよう指導していく。

(10) 広報部 (事務局代理)

・6月のホームページアクセス状況は、訪問数8,606 閲覧数24,029 前年同月比、訪問数90.8%、閲覧数98.3%。前月比は、訪問数130.3%、閲覧数129.0%。閲覧数86.8%。タイか

らの訪問数は62.1%、日本からは31.5%。

・6月度LINEは11回配信、登録者数は、先月より99名増加し、4,102名（有効数 2,920名）となっている。

・6月度Facebookは、78回配信、登録者数は、先月より76名増加し、1,585名となっている。パフォーマンスの高かった投稿は、6月11日（木）に配信した、「タイ外務省より、ワークパーミット所持者の外国人の入国手続きについて」（和訳の補足を日本人会事務局でおこなった。）と、6月24日（水）に配信した「JTBOオンラインセミナー第一弾・自然を満喫！日帰り旅行 告知」であった。

・6月度インスタグラムは、7回配信、登録者数は、先月より47名増加し、589名となった。

・Facebookでは、「事務局のつぶやきシリーズ」を新しく開始した。職員の生活情報など身近な話題を掲載し、親しみをもってもらえるような内容にしている。

（11）会報部（事務局代理）

・クルンテープ誌7月号を7月10日（金）に発送した。特集は、「日本人会の社会貢献」「ボランティア紹介」「サークル紹介」「2020年度理事紹介」。表紙は、シーカーアジア財団のマスク工房。

（12）バンコク日本人学校（学校理事長・藤田理事）

7月1日（水）より、新学期を開始した。バンコク校は、3グループに分け3日に1回の登校で、午前中のみ4時間授業を実施している。登校日でない日は、オンライン授業となっている。登校に際しては発熱の有無などの告知書の提出をお願いしている。検温実施、マスクの着用、通学バスは詰めて座らないよう座席が設定されている。今のところ大きな混乱もなく、授業が実施されている。バンコク校では、日本で待機している児童生徒が約90名おり、その七割は日本の学校に登校している。教職員がバンコク校で41%、シラチャ校で26%が入国できず日本で待機している。具体的には全教職員185名のうち71名が入国できておらず運営上問題となっている。

（13）事務局

・今後の会議予定を確認した。

・7月27日（月）ソングラーンの振替休日となったため事務局も休日とする。

9. 6月度理事会議事録承認

——> 異議なく承認された。

10. 理事会出席者（敬称略、順不同）

島田会長、田中（伊藤忠）、中村、藤田、田中（郵船）日時本各副会長、荻原、加藤、重松、猪股、太田、神原、桐生、日高（丸紅）、土田、竹井、日高（日高洋行）、堀尾、福田、金子、石井各理事、朽木、大竹各監事、松前大使館代表、宮崎 JICA（国際協力機構）所長、石川 JETRO（日本貿易振興機構）代表、吉岡国際交流基金代表、藤下・高橋各報道代表、小田原バンコクスリウォンロータリークラブ代表、事務局（熊本・村上・松田）